モリメイト倶楽部 Hiroshima 発【 森づくり啓発シリーズ 】

～こんな事にも関わっています～

高学力で有名な『広島なぎさ中学校』は人間力の育成を教育目標の一つとして「自ら学ぶ」「自ら創る」姿勢を大切にし、3 年生には「社会人に出会い、働き方を知ることで、仕事の魅力を発見し、自分の仕事や進路についての考えを深める」ことを目的として、毎年「仕事ウォッチング」を実施されています。

鶴学園とのご縁は 20 年以上前から。高等学校において当時の私の仕事、社長秘書について講演をしたことが始まり。その後、中学生の「林業体験」のご依頼を受け、今に至ります。

～スクゥスクゥの森にて森づくりを体験～
広島なぎさ中学校「仕事ウォッチング」

理事長　山本 恵由美

竹林整備。雪まじりの寒い日でした。
山本理事長から整備の大切さを聞く。

シイタケの菌打ちを行う。均等に場所を決めて丁寧に打ち込んでいく。

火起こしからスタート。薪でご飯を炊く。
昼のメニューは、カレーライス。(美味しかった)

実施日 1 月 24 日(火)はそれぞれの職業、職場体験先 35 社に振り分けられたうち 21 名が JR で 9 時過ぎに白木町スクゥスクゥの森に集合。

当日は、主に 3 つのプログラムを提供。夕方 16 時までの長時間、

① 繁茂した竹林の整備。
② 椎茸の菌打ち仕事。
③ 火を起こし薪で食事を作る。

など、森の有用性と重労働を体感してもらいました。

「チーム力と何か、仕事を遂行するためには自らを生かす思考力が重要。それで足りているのか、ボケ～っとせずにどう動けばいいのか思考を止めない！」と、際限なく自問し続けるよう所々で喝を入れながら。

その甲斐あって(？)か、2 月 13 日の報告会では森の恩恵や里山保全はもとより、丁寧さと先を見据えて行動し、効率よく仕事をすることが重要だという発表がありました。

スマホなど指一本で何でも目の前で情報が取れる若者には、実体験はなにより重要なこと。この体験を通して自然への敬意や社会人の生き方や仕事に対する「おもい」などを学び、いつか社会に貢献する活動を起こせる市民へと、回路が繋がることを心から願っています。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

《指導員：山本、見勢井、本廣
北田（夫妻）、秋武、吉村》

午後からは、間伐材を利用した干支のウサギを製作。それぞれ記念の作品ができました。

2 月 13日に報告会がありました。パネルを用いたり、寸劇を入れたり色々趣向を凝らし素晴らしい発表でした。「感慨深かった～」と、山本理事長。